

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施 策	②マリンタウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備
			施策の小項目名	○MICEを中心とした魅力あるまちづくり
主な取組	那覇空港自動車道の整備		対応する成果指標	1,000人以上のMICE開催件数
施策の方向	・マリンタウンMICEエリアにおいて大型MICE施設整備を推進するとともに、宿泊施設や集客施設等の立地促進や施設利用者の交通利便性の確保、オープンスペースの賑わいやスマートシティの形成など、MICEを中心とした魅力あるまちづくりに取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
本島中南部・北部の各拠点の地域振興の支援、物流の効率化及び交通混雑の緩和を図るため、那覇空港自動車道(小禄道路)の整備を行う。	国	小禄道路の整備		
		整備促進に向けた県から国への要請回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課	【 098-866-2390 】	関連URL	https://www.ogb.go.jp/kaiken/3434/11917/011623

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

道路交通円滑化改築（国道506号）

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

国直轄

その他

令和7年度活動内容

国は、小禄道路の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。

予算事業名

国直轄事業県負担金（国道506号）

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

県単等

負担

令和7年度活動内容

県は、国の小禄道路の整備に係る負担金を支出した。さらに県は国に対し、当該事業の促進を図るため早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。

(単位：千円)

予算事業名

道路交通円滑化改築（国道506号）

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

国直轄

その他

令和8年度活動計画

国は、小禄道路の整備を行う。県は当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。

予算事業名

国直轄事業県負担金（国道506号）

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

負担

令和8年度活動計画

県は、国の小禄道路の整備に係る負担金を確保する。さらに県は当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。

活動指標名

整備促進に向けた県から国への要請回数（累計）

R7年度

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

順調

国は、小禄道路の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要望を2回（5月、11月）行った。

- 2 -

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和7年度の要請回数は、目標値2回に対し実績は2回だったことから目標を達成しているため順調とした。 国において、小禄道路の整備が着々と進んでおり、完成後は広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセス改善、利便性向上及び産業の振興に寄与する。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の実績改善案	反映状況
引き続き国に対し、早期整備の要請を2回行う。	県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	自動車保有台数やレンタカーの増加等に伴い、今後もさらなる交通量の増加が見込まれることから、当該道路の早期整備が望まれる。	⑧ その他	引き続き国に対し、早期整備の要請を2回行う。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施 策	②マリンタウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備
			施策の小項目名	〇MICEを中心とした魅力あるまちづくり
主な取組	沖縄西海岸道路の整備		対応する成果指標	1,000人以上のMICE開催件数
施策の方向	・マリンタウンMICEエリアにおいて大型MICE施設整備を推進するとともに、宿泊施設や集客施設等の立地促進や施設利用者の交通利便性の確保、オープンスペースの賑わいやスマートシティの形成など、MICEを中心とした魅力あるまちづくりに取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
中南部圏域西海岸の地域拠点、広域交流拠点、高規格幹線道路を相互に連絡し、物流の効率化、交通渋滞の緩和を図るため、沖縄西海岸道路(読谷道路等)の整備を行う。	国	読谷道路、浦添北道路、那覇北道路等の整備		
		整備促進に向けた県から国への要請回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課		【 098-866-2390 】	関連URL https://www.ogb.go.jp/kaiken/3434/11917/011623

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

道路交通円滑化改築事業（国道58号）

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

国直轄

その他

令和7年度活動内容

国は、読谷道路等の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。

予算事業名

国直轄事業県負担金（国道58号）

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

県単等

負担

令和7年度活動内容

県は、国の読谷道路等の整備に係る負担金を支出した。さらに県は国に対し当該事業の促進を図るため早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。

(単位：千円)

予算事業名

道路交通円滑化改築事業（国道58号）

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

国直轄

その他

令和8年度活動計画

国は、読谷道路等の整備を行う。県は、当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。

予算事業名

国直轄事業県負担金（国道58号）

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

負担

令和8年度活動計画

県は、国の読谷道路等の整備に係る負担金を確保する。さらに、県は当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し早期整備等の要請を行う。

活動指標名

整備促進に向けた県から国への要請回数（累計）

R7年度

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

順調

国は、読谷道路等の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。

- 5 -

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和7年度の要請回数は、目標値2回に対し実績は2回だったことから目標を達成しているため順調とした。 国において、読谷道路等の整備が着々と進んでおり、完成後は広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセス改善、利便性向上及び産業の振興に寄与する。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の実施改善案	反映状況
引き続き国に対し、早期整備の要望を2回行う。	県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。



3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	自動車保有台数やレンタカーの増加等に伴い、今後もさらなる交通量の増加が見込まれることから、当該道路の早期整備が望まれる。	⑧ その他	引き続き国に対し、早期整備の要望を2回行う。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-オ	マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興	施 策	②マリンタウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備
			施策の小項目名	〇MICEを中心とした魅力あるまちづくり
主な取組	ハシゴ道路ネットワークの構築		対応する成果指標	1,000人以上のMICE開催件数
施策の方向	・マリンタウンMICEエリアにおいて大型MICE施設整備を推進するとともに、宿泊施設や集客施設等の立地促進や施設利用者の交通利便性の確保、オープンスペースの賑わいやスマートシティの形成など、MICEを中心とした魅力あるまちづくりに取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
沖縄本島の南北軸と東西軸を有機的に結ぶハシゴ道路、空港・港湾へのアクセス強化に資する重要物流道路や那覇都市圏の交通容量拡大等に寄与する2環状7放射道路の整備など体系的な幹線道路ネットワークの構築に取り組む。	県	浦添西原線、県道24号線バイパス、南部東道路、上之屋道路等の整備		
		整備済延長(累計)		
		整備実施	2.9km(2.9km)	2.7km(5.6km)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課		【 098-866-2390 】	関連URL —

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	地域連携推進事業費（地域高規格道路）			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	
内閣府計上	直接実施	2, 616, 247	3, 239, 780	
令和7年度活動内容				
南風原知念線（南部東道路）における工事および用地補償等の整備の実施。				
予算事業名	高規格ICアクセス道路整備事業費等			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	
内閣府計上	直接実施	3, 753, 264	1, 990, 071	
令和7年度活動内容				
幸地インター線、城間前田線等における工事および用地補償等の整備の実施。				

(単位：千円)

予算事業名	地域連携推進事業費（地域高規格道路）		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
内閣府計上	直接実施	4, 441, 247	
令和8年度活動計画			
南風原知念線（南部東道路）における工事および用地補償等の整備の実施。			
予算事業名	高規格ICアクセス道路整備事業費等		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
内閣府計上	直接実施	5, 401, 911	
令和8年度活動計画			
幸地インター線、浦添西原線、城間前田線等における工事および用地補償等の整備の実施。			

活動指標名	整備済延長（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	—	0. 4km	整備実施	0. 0%	順調	幹線道路ネットワークにおける対象路線の計 0. 4kmが整備済みとなったとともに、南風原知念線（南部東道路）、幸地インター線、城間前田線等の工事および用地補償等を実施した。

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
幹線道路ネットワークの対象路線の整備を実施し、浦添西原線の一部の計0.4kmが整備済みとなり、目標値を達成したことから、取組は順調と判定した。引き続き、体系的な幹線道路ネットワークの構築に寄与する道路および街路整備事業を推進する。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
収用委員会の動向を注視し、裁決後に速やかに用地取得を行い工事進捗を図る。	収用委員会の動向を注視し、裁決後に速やかに用地取得を実施し、工事進捗を図るために事業工程の精査や土木事務所と対象路線に関する調整などの事業進捗に関する現状および課題等の把握に努めた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	令和7年度までの進捗状況が順調であることから、対象路線の早期の効果発現に向けて、支障となる課題等の把握とその解決手法を検討するため、各土木事務所との連携の強化を図っていく必要がある。	① 執行体制の改善	各土木事務所との執行会議等を開催し、対象路線の整備における課題や工程の共有を実施するなど、早期の効果発現に向けての事業進捗を図る。